



ジャパニーズ・アネモネ 秋のひとり舞台



姿には、楚々とした美しさがある。



(ルイーズ・I・ギニー「ザ・ジャパニーズ・アネモネ」より)

この時期、ひとは夏の思い出に別れを告げ、長い冬を迎える心の準備をしなげればならない。自然界がゆっくりと活動を停止していくなかで、ジャパニーズ・アネモネはさりげなく華やかさを放ち、冬支度に向かう人々を励ましてくれる。

日本原産ではないのに、西洋で誤って「ジャパニーズ」と名づけられた。本当の出身地は中国。古い時代に日本に渡って野生化していたため、鎖国下の17世紀、長崎のオランダ商館にいたドイツ人博士がヨーロッパに紹介した際、日本の花だと受け止められた。

「他のどの花も枯れたころに満開になる。死者の最後の休息地を飾る花として最もふさわしい」。こんな言葉を添えてフォーチュンが花をロンドンに送るとすぐにイギリス中に広まった。

花はどこまでも無垢で落ち着いていて、香りすらない(略)



静寂そのものだから、私はこの花を愛する

生きた花が最初にヨーロッパに届いたのは、1844年になってから。イギリス(ロンドン在住ジャーナリスト、写真も)

秋たけなわである。ロンドンでは多くの花がすでに花期を終えたが、秋に花盛りとなるジャパニーズ・アネモネ(和名・秋明菊)は、花のいのちを輝かせてひとり舞台を楽しんでいる。

1. 近い背丈を伸ばし、多方向に枝分かれした先端に白かピンクの花を多数つける。秋風にそよぐ細身の

静寂そのものだから、私はこの花を愛する

第4日曜掲載